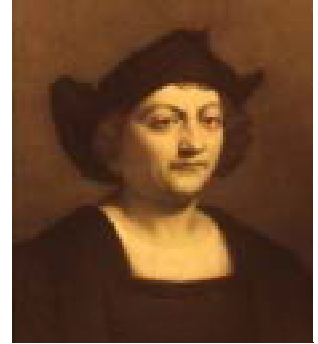


コロンブス (1451 ~ 1506 Christopher Columbus)

コロンブスは、大西洋を西に進んでアジア(ジパング)への航路を発見しようとし、実際にはカリブ海の島々に到達したイタリアの航海者です。



彼はカスティーリヤの女王イサベル1世とその夫フェルナンド5世の援助を受け、サンタ・マリア号、ピンタ号、ニーニャ号の3隻に約90人の乗組員を乗せて、1492年8月3日、パロス港を出航しました。カナリア諸島に立ち寄った後、9月6日にゴメラ島を出てまっすぐ西に向かい、10月7日、南西に針路をかえて、10月12日未明、ついに陸地「バハマ諸島のグアナハニ」を発見しました。上陸したコロンブスは、集まってきた島民の前で、この島はスペイン領になったと宣言、「サンサルバドル島」と名付けました。それから数週間のうち、キューバ島、イスパニョーラ島(現ドミニカ共和国およびハイチ)などに上陸しましたが、彼はこれらの島々を死ぬまでアジアの一部と信じていました。そのため、島の人々をインド人(インディアン: スペイン語でインディオ)と呼びました。同年12月、サンタ・マリア号がイスパニョーラ島沖で座礁したため、40人弱の乗組員を残して2隻で帰途につき、翌1493年3月パロス港に入港しました。コロンブスは女王夫妻から熱烈な歓迎を受け、数々の栄誉を与えられました。

コロンブスは合計4回におよぶ航海を通じて、カリブ海を中心とした多くの島々に足跡を残した優秀な航海者でしたが、行政官としては、島民(先住民)への弾圧がひどく、また島民と入植者たちとの争いもうまく治めることができないなど失政が続いたため、その地位をスペイン本国から解任されました。

なお、彼がサンサルバドル島を発見した10月12日は「スペインの日」として、欧米諸国では祝日となっています。